





# 財政比較特別研修

～中核市を対象として～

## 歳出の財政比較

地方議員研究会 統括コンサルタント 川本達志

# 財政比較特別研修 ～中核市を対象として～

## 歳入の財政比較

地方議員研究会 統括コンサルタント 川本達志



## 活動結果報告書

令和4年12月10日

越前市議会

議長 吉田 啓三 殿

議員氏名 橋本 弥登志

下記のとおり報告します。

日 程 令和4年11月20日（日曜日） 10時から11時

活動先 越前市いこい館 体育館 越前市都辺町36—84

活動目的 橋本やとし 2022秋 議会報告会

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

地方自治体の歳入歳出の分析と傾向について、参加者の自治体の決算カードを用い、わかりやすく学んだ。

- ・越前市議会における議会活性化、一般質問、質疑、市政の近況などの報告を別添かわら版を中心に行なった。
- ・特別講演として、越前市長 山田賢一市長による「越前市新時代」の創造～住み続けたい 帰って来たい 訪れたい ふるさとに～を行なった。
- ・参加者は白山地区区長、神山地区区長、始め市内各地から約150名の参加をいただいた。

主催：白山地区区長会・橋本やとし後援会

橋本やとし2022秋

# 議会報告会

11月20日(日)

10:00~11:00



会場：いこい館 体育館  
(越前市都辺町36-84)

内容：議会報告と意見交換

・議会活性化について 等

## 【特別講演】

越前市長 山田賢一

演題：「越前市 新時代」の創造

～住み続けたい 帰ってきたい

訪れたい ふるさとに～



【お問合せ先】 橋本やとし後援会：090-2374-6014上野

## 活動結果報告書

令和 5年3月30日

越前市議会

議長 吉田 啓三 殿

議員氏名 橋本 弥登志

下記のとおり報告します。

日 程 令和4年11月15日(金曜日)～ 令和4年11月15日(金曜日)

活動先 橋本やとし かわら版

活動目的 越前市の取り組みや今後の政策を市民に伝える

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

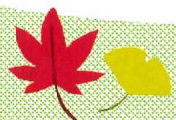
印刷業者 土橋印刷

支払金額 62,150 円

発行数 3,000 枚

内 容 別紙のとおり





# 橋本やとし かわら版

いつものご支援、  
大変ありがとうございます。

今回、副議長に就任いたしました！  
これも皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。



議会の運営にあたっては、  
公平・公正・闊達に話し合い、住民の福祉増進を原点に、市民にわかりやすい議論で市民目線の議会運営を行なってまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ：越前市牧町18-30-2

TEL：090-2123-7155

FAX：0778-67-7487

## 5人で『郷働（きょうどう）』会派を結成

名前の由来は・・・市民のみなさまと共に手を取り合って、  
故郷越前市を作っていきたいという思いからです。



政調会長  
近藤光広

会計  
橋本弥登志

会長  
川崎悟司

幹事長  
小玉俊一

顧問  
城戸茂夫

《その他の委員会》

- 常任委員会所属：教育厚生委員会
- 特別委員会：決算特別委員会(委員長)  
議会活性化特別委員会
- 組合議会：南越消防組合議会議員



## 令和6年 NHK大河ドラマは紫式部 タイトルは【光る君へ】

紫式部役は、吉高由里子さん

生涯でただ一度だけ都を離れ暮らした土地が、当時の越前国府であった武生（現在の越前市）。源氏物語にも武生の地名が登場します。

越前市内には紫式部を記念して造られた紫式部公園があり、紫式部像が建てられています。公園に隣接して、紫式部と越前市のかかわりを紹介する「紫式部と国府資料館」（愛称・紫ゆかりの館）が昨年4月にオープンしました。これからが楽しみです。





指定管理者制度について

**問** 公の施設管理については、直接管理、指定管理さらに地域づくり、住民との協働を高める委託等幅広い方法を選択しても良いのではないか。

**答** 施設の管理については、指定管理者制度の趣旨に基づき、住民サービスの向上や経費節減が図られているかを検討した上で、直営管理、民間移譲、業務委託など様々な管理形態を考える。



地域の減災について



**問** 減災とは何か。地域で自主防災組織の育成や備蓄倉庫の整備、進化系防災グッズに象徴されるに防災研修、訓練も進化しないとイケないのではないか。

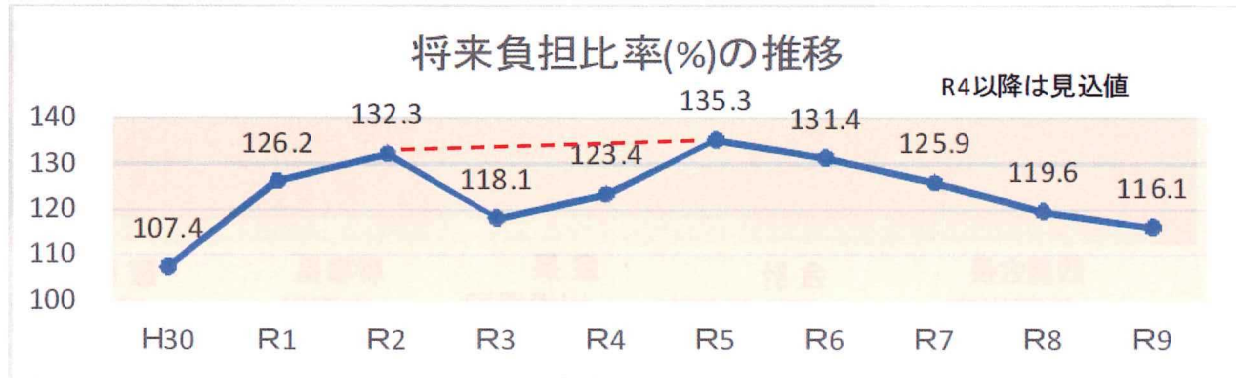
**答** 災害による被害は生じるものという考えを前提とし、その被害を最小限に抑えるために、備える事前の対策である。自助共助が大切なので、普段から地域のつながりを大切にして災害に備えることが大切。市内に239ある自主防災組織の育成に努める。

2021年度 財政健全化指数

**問** 越前市の財政健全化指数が改善されている。昨年の市長選で争点だったが、その時とは大きくかわったが、その要因は何か？

**答** 市税収入への新型コロナウイルス禍のマイナス影響が当初見込みより小さく堅調だったことに加え、昨年12月に国から普通交付税の追加交付があったことから、標準財政規模の算出値が大きくなったため、両指標の改善につながった。

将来負担  
1.4、2ポイント改善



越前市では、今後5年間の一般会計ベースの中期財政見通しを示すことで、将来を見据えた健全な財政運営を行うことを基本とするものです。

そのための、それぞれの数値をグラフ化しています。その結果、これまでと同様健全な財政運営が期待できます。

新公立子ども園（西校区）建築工事  
起工式にて挨拶いたしました

令和4年10月5日

- ・令和6年4月 開園予定
- ・武生西小学校南側
- ・支援センターも設置
- ・定員200人
- ・0～5歳児を受け入れ

乳幼児保育支援センターも設置し、就学前教育・保育の質向上へ、市全体の公私立園をけん引する拠点として活用していく予定です。



グリーンツーリズムに、新たな視点を取り入れよ

**問** グリーンツーリズムをどのように捉え、今後どのように取り組むのか。

**答** グリーンツーリズムとは、自然豊かな農山漁村に滞在し、地域の人々との交流を通して、農山漁村ならではの暮らしや体験等を楽しむ余暇活動と捉えている。

今後、アフターコロナを訪問、滞在地として魅力発信するタイミングと捉え、ワーケーションの受け皿としての可能性や、コウノトリを代表とする自然環境を生かした資源を磨きあげ、都市住民に対してアピールしていく。



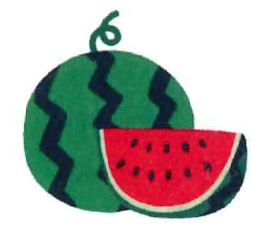
田植え体験

【食と農およびエコ・グリーンツーリズムに関する連携協定 締結式】

令和4年7月29日



私の提案を  
一部取り入れています



しきぶ温泉湯楽里の指定管理者である「イワシタ物産」「しらやま振興会」「エコ・グリーンツーリズム水の里しらやま」「水辺と生き物を守る農家と市民の会」そして越前市の5者で『食と農およびエコ・グリーンツーリズムに関する連携協定』を締結いたしました。

8月6日(土)、7日(日)には湯楽里でのフリーマーケットにて、しらやま西瓜の販売が行われ、持ち帰りM、Lサイズ各20個の販売のほか、その場で食べられるようカットされたスイカの販売も好評で盛況となりました。

白山地区区長会 要望書提出

令和4年10月7日

【提出先】  
越前市 / 丹南土木事務所 / 吉野瀬川ダム事務所

- ・市道の改修について
- ・主要地方道  
県道19号・3号・190号線 関連事項  
(道路の拡張,補修修繕,樹木伐採など)
- ・天王川の浚渫について
- ・国成川護岸の崩落防止について
- ・吉野瀬川ダム建設に係る周辺整備について  
①レクリエーションダムとしての利用促進  
②道の駅整備事業  
(休憩スペースになる小公園の整備)





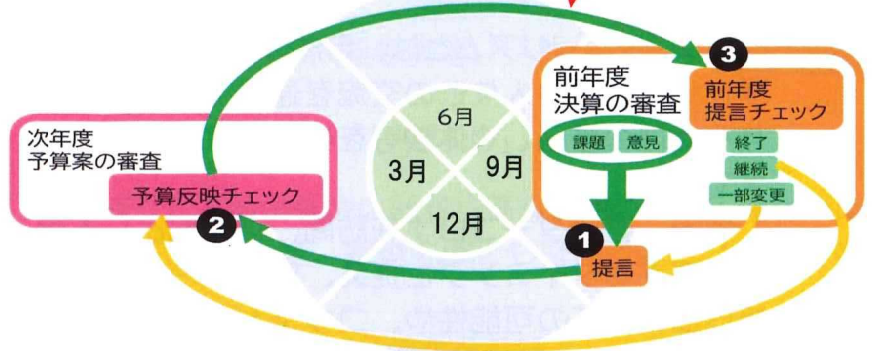
## 決算審査から政策提言へ

これは、9月定例議会において前年度の決算を審査する中で、出された意見を集約し、次年度の予算編成などに反映するよう市長へ提言を行うという取り組みです。

そして、3月定例議会において、次年度予算案の審査を行う際に、9月定例議会において行った提言の内容が予算案に反映されているかどうかのチェックを行うものです。

# 議会改革

提言事項の取り扱いイメージ



例えば  
今回は…

## 地域ネットワーク活動事業の見直しについて

社会福祉協議会の社会福祉活動専門員や  
在宅福祉強化事業活動への助成金について



地域福祉推進において重要なものであるが、団体補助であるため社会福祉活動専門員や在宅福祉強化事業活動以外の事業確認が困難になっていることから、課題を解決する方策を策定しその方針に則り段階的見直しを図る事や、時代の状況変化を捉え事業内容及び予算算定方法の見直しの検討すること。

## 橋本やとし 環境活動の原点は「メ・ダ・カ」

### 100年後もメダカと生きる

「メダカを育む武生(現越前市)の下水道」

私の水環境を次世代に繋げる活動のきっかけは、武生市役所(現越前市役所)下水道課在職中に、「汚物処理場建設 絶対反対」運動が起きたことからです。そこで地域の水環境を守るための環境改善施設を、正しく理解してもらうための手段として、その当時絶滅危惧種とされていたメダカを、下水道事業PRの使者として保護、飼育する取り組みをはじめました。



越前市家久浄化センタービオトープ

平成11年12月「武生めだか連絡会」を立ち上げ、メダカ愛好家・研究者・企業・行政と共に、メダカを守る取り組みを始めました。

そして、令和元年には「日本めだかトラスト協会」の事務局長に就任し、メダカを通して生命を見つめ、自然・環境を次世代に伝えていく活動を続けています。



議会の様子をインターネットまたは、  
丹南CATVで視聴できます

Facebookでも情報を発信しています。  
ぜひこちらもお覧ください!

Facebook 橋本やとし Q で検索してください。

